

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2376300246		
法人名	有限会社 ネクストサブライ		
事業所名	グループホーム東栄の家 (1号館)		
所在地	愛知県北設楽郡東栄町大字本郷字久保田10-7		
自己評価作成日	令和2年9月7日	評価結果市町村受理日	令和2年11月13日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kajigokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;jiyosyoCd=2376300246-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kajigokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;jiyosyoCd=2376300246-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社第三者評価機構 愛知評価調査室
所在地	愛知県名古屋市長瀬区本願寺町2丁目74番地
訪問調査日	令和2年9月18日

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

グループホーム東栄の家は国道151号線沿いでとても解りやすく周辺には商店街や歯医者、イベント広場などがありとても立地条件が良くのどかな所にあります。また、駐在所や消防署も近くにあり安心できる環境です。利用者様は地元の方が多く、住み慣れた地域でのんびりとその人らしい生活が送れるように支援をし、利用者様に寄り添い安心して穏やかに暮らせることが第一だと考えております。また、利用者様の最高齢者が102歳の方をはじめ100歳以上の方が2名、90歳以上の方も15名おられ年々超高齢化が進んでおります。利用者様が元気に年を重ねることが出来るように支援し長く一緒に暮らせることが出来る施設を目指しています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

山間の小さな町ながらも社会資源に囲まれ、便利な場所に事業所はあります。車いすを使う利用者は都度移譲して椅子にかけてもらえるようにしており、手押し車も適宜導入して「これまでどおり」が実践されているためか、平均介護度が3を超えているように見えず大変お元気で、90歳代15名、100歳代2名と長寿を誇っています。「戻りたい」と気持ちを強くもって1年の闘病生活を経てリハビリに励み職場復帰した職員や、「親になにもしてあげられなかった」罪滅ぼしのためにこの仕事に携わったという職員もいて、障害や高齢などその人の背景が様々ある中でも相互扶助の精神を以て働きやすい職場をつくっています。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている ○ 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	私達が作った「ゆったりと楽しく」「自由にありのまま」「仲間と一緒に暮らす」との理念は皆が家族のように、自分の家で生活しているようにこの思いを共有し実践できるように努めています	緑の山々に囲まれ、清浄な空気の中で「ゆったり」暮らせることが叶い、「(毎朝1杯が習慣だった)珈琲が飲みたい」「化粧もしたい」「毛染めをしたい」という人の要望に応じて「ありのままに」を支え、理念の実践についてはカンファレンスで振り返る機会をもっています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	新型コロナウイルスの影響で外出やイベントへの参加、ボランティアの方や保育園児、小中学生の訪問は出来ない状況です。町内の店からお弁当をとったり小学校から生徒が育てた花の苗を頂き花壇に植えたりと地域との交流をしています	「体験学習はできそうですか」という問い合わせもありましたが、現在園児や小中学校の生徒、ボランティアの来訪はストップしています。町内にある店舗で購入したり、小学校から花の苗をもらうなどの水面下での交流を続け、終息を待つ毎日です。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議の場で様々な取り組みや支援等の内容を説明し理解を頂いています。新型コロナウイルス感染予防のため外出の機会がなくなり地域の方々に触れ合う機会が受診以外無くなっています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を2ヶ月に1回行い行政、地域や家族の代表の方に出席して頂き運営状況を報告しています。会議での貴重な意見や提案等をサービスの向上に活かせるように努めています	東三河広域連合に電話で問い合わせ、「中止でもいたしかたない」「何か書面には残すように」と助言を受け、4月は書面開催とし、区長・民生委員をはじめメンバーに活動報告をおこなっており、役場と地域包括支援センターには「書面を確認した」との署名を得ています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者とは運営推進会議に協力して頂いたり認定調査や会議、コロナウイルスについて連絡を取り合ったりしています。利用者様の入退居の報告や広域連合への提出書類の窓口にもなっていることから協力関係を築いています	状態変化では家族に相談のうえ区分変更に至ることもあり、事業所で立ち合い代行する場合があります。また人口減少から、役場では「古民家をリフォームして長く村に住んでほしい」という移住誘致計画に力を入れていて、当事業所にも採用の問い合わせがありました。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	一人体制以外は特別な理由がない限り玄関やユニット間の施錠はしていません。AA課程(内部研修)で身体拘束について学ぶ機会があり、3ヶ月に1回身体的拘束適正化検討委員会を行ない身体拘束について共有し拘束をしないケアに努めています	身体拘束廃止未実施減算については、昨年10月の実地指導でも指摘事項はなく、指針整備及び3ヶ月に1度の身体的拘束適正化検討委員会の開催もつつがなく重ねています。スピーチロク的な「ちょっと待って」は随時注意はしていても、現段階では正策はあがっていません。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	AA課程(内部研修)や本部から届く朝礼で虐待について学ぶ機会があります。職員一人ひとりが自覚を持ち見過ごされることが無いよう注意を払っています。また、管理者は年2回高齢者虐待についてレポート提出しており虐待防止に努めています		

## 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関してはAA課程(内部研修)で学ぶ機会があります。以前は成年後見制度を活用され入居されていた利用者様がいましたが現在はいません		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結や改定等の際は管理者が説明を行いません。不安や疑問点には納得して頂けるように説明し理解して頂いています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様には運営推進会議に参加して頂いたり面会時やケアプラン作成時に意見や要望等を伺い運営等に反映するように努めています	1ヶ月の報告代わりとして各ユニットリーダーが9名の利用者家族へ便りを発送することは継続していますが、年1回の家族会も今年では中止となり、面会も自粛です。利用者と家族双方にストレスが溜まりやすい状況に対策や工夫が求められています。	普段の何気ない様子をスナップ写真に収め、家族に届けて安心に結ばれることを期待します。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	各館のカンファレンスの時間や職員会議の場で自由に話が出来よう環境作りをして、職員の意見や提案を参考にし業務等に活かしています	実地指導では管理者が夜勤に入っていることで口頭指導を受けましたが、現在では職員配置も安定しています。各ユニットにリーダーを置き、3つのユニットをそれぞれがまとまっていて、管理者へ報連相できており、職員の協力意識も高いことが特長です。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得者には資格手当の支援を行ない達成手当等各種手当の支給もあり向上心を持って働けるよう対応を行なっています。労働時間は定時で終われるよう職場環境の整備に努めています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月AA課程(内部研修)を受けています。町と地域包括支援センター主催の地域ケア会議に毎月出席予定でしたが新型コロナウイルス感染予防のため延期になっています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	東栄医療センターにて新型コロナウイルスの予防対策について同業者との情報交換会を行ないました。町内外の勉強会等は新型コロナウイルス感染予防のため行なえていません		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時は勿論のこと本人と話しをし何が不安か信頼関係を築きながら安心した毎日が過ごせるように支援しています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期に築く家族との信頼関係は大変大切に初期には特に電話で様子を伝えたりご家族の不安等に対応できるように努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	まずはお話をさせて頂き何をニーズとしているのか求めている必要な支援を見極めてサービス提供し本人が安心した生活が送れるように努めています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員と利用者という事だけではなく孫になり娘になり又は嫁になりというような関係づくりの中から日常いろいろな事を利用者様から学ぶ関係になっている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族が訪問した際には日々の様子を負担にならないように伝えたり情報を共有したり、協力をして頂きながら共に本人を支えて行く関係を築いている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナウイルス感染予防のため面会は思うようにできずご家族に協力していただき電話でのやり取りを多くしている	コロナ対策における面会は「中止」「自粛」「再開」と感染状況に応じて変更しています。変更にあたっては本部の指示に従い、請求書の発送時に現在の状況を家族に報告しています。他県に家族が住む利用者には電話で話せるよう職員が手伝っています。	コロナ対策の状況変化のお知らせが請求書の発送時では最大で30日のタイムラグが発生します。タイムリーな連絡となることを期待します。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を注意深く見守り、情報を共有し、性格や個人の気持ちを尊重しながら利用者同士が無理なく関わり合えるような話の取次ぎをしている		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も時々連絡をしたり、また連絡を頂く場合は近況や退居後の様子を尋ねたり、気楽に相談や訪問してもらえるような関係作りをしています。畑で採れた野菜や新茶を今でも届けて下さってます		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中で利用者さんの態度や会話の中から思いの把握に努めている。又、職員間で情報を共有し把握に努めている	お互いに心を開きやすい入浴の場面や寄り添い歩く散歩では、思いがけない発語を得ることもあり、そういったときは「申し送りノート」「介護記録(詳細記録)」に残し、職員間で共有しています。こぼれた一言で以前の暮らしぶりが判ることもあります。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前には本人や家族から生活歴等の聞き取りを行い、カルテに個人情報として記入してあり把握に努めている。カルテに載っていないでも日常の会話の中からいろいろな話を伺っている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の心身状態等は介護記録、申し送り、詳細記録、カンファレンス等で現状の把握に努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族には日常関わることで希望や意向を聞き、反映できるように努めている。計画作成日にはモニタリングを行ない意見交換をしながら現状に即した介護計画を作成している	3ユニットに其々計画作成担当者を配置し、内1名が介護支援専門員の有資格者です。職員会議とは別にカンファレンスを設け、複数のユニットに従事する職員は勤務日であればすべてのカンファレンスに参加して共有に努めています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送りノートや個別の介護記録により情報の共有をしている。利用者の変化には職員の話し合いで対応等検討しながら実践に活かし介護計画の見直しに役立てている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	コロナウイルス感染予防のためご家族様の協力が得られずニーズ対応できていない。外出や外泊はできておらず病院受診や買い物は職員で対応する事が多い。		

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	警察や消防等地域資源を活用できるように連携をとっているがコロナウイルス感染予防のためイベント行事への参加やボランティア来訪の受け入れはできていない		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	現在かかりつけ医は持っていないが、協力医となる医療センターとは密な連携を取りながら、適切な医療を受けられるように支援している	27名全員が従来のかかりつけ医から協力医に変更しています(が、大半はもともと協力医が担当医だった)が、定期受診がある人は25名です。数名家族の付き添いで受診していましたが、コロナ禍となり全員職員です。医師からも1ヶ月分の配薬を2ヶ月分とする協力を得ています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	受審に戸惑う時は協力医に相談したり、週に1回看護師が出勤する時に相談しアドバイスを貰ったりしている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時は病院に出向いたり連絡を取り合っ情報交換や相談をしています。医療機関とはより良い関係作りに努めています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化してくると終末期のあり方については医師の判断のもと今後の方針についてご家族様の気持ちを大切にしながら、医療機関や関係者とも方針を共有しながら支援に努めています	協力医は看取りに親身で「スタッフにもいってあるから」と心配りくださいます。此処1年の間にも1名のお見送りがあり、穏やかなお顔で息をひきとったことが印象的だったとのことです。90歳代15名、100歳代2名と長寿を誇る事業所であり、今後も本件における医療連携は必須です。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に訓練は行なえていないが急変時は協力病院と連携して対応をしています。職員1名が応急手当普及員となり必要に応じて活動しています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防関係者や運営推進会議で町の防災担当者からは、災害時は指示があるまでは室内で待機していることを進められています。施設の目の前に自主防災会の事務局が設置されるため指示や協力は得られる環境にあります	コロナ禍にあっても変わりなく、通報訓練を含む年2回の防災訓練が実施できています。他にも防災業者の訪問における年2回の機器チェックを受けています。家族に協力を仰ぎ、各居室に1つずつランタンも備え、今後は町が防災無線を設置くださるとの話も進んでいます。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の名前の呼び方、言葉遣いや接遇等人格を尊重した対応に気を付けたり排泄の失敗等本人を傷つけないよう対応には心掛けている	接遇は年間研修に組込まれ、笑顔で朗らかな挨拶ができる職員集団ですが、家族からは態度や言葉遣いについて意見があがっていて、今後の課題としています。管理者が気になる人には都度注意して改善に努めています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望等様々な場面で尋ねたり献立の希望、散髪をするしない等できる限り自己決定ができるよう働きかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様一人ひとりの体調、毎日のリズムを把握し本人の気持ちを尊重し決して無理強いしないようその人らしい暮らしになるよう努めている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	以前は馴染みの美容院にも行ったりしたが皆さん高齢になり出掛けるのが難しくなった。洋服を選んだり顔剃りをしたり、身だしなみには気を付け支援している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好きな物を献立に取り入れ作る努力をしている。高齢になり一緒に食事作りは出来なくなりましたが、一部の方には食器拭きをして頂き、協力して頂いている	週2回の食材搬入を外部業者から受け、職員が手作りしています。事前にリクエストを聞いたり、「温かいおそばがいい?」「冷たいのがいいかな?」とその日、その場の融通の幅も広くもっていますが、味見程度で検食の仕組みはありません。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立表にて栄養バランスを取り水分制限がある利用者様には1日の摂取量をバランスよく配分して提供している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後声かけにてご自分で出来る方はして頂き汚れが残っていないかチェック、介助の必要な方は職員が介助し、定期的に歯科医により歯の掃除などして頂き清潔保持に努めている		

## 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排尿チェック表を作り排尿、排便の確認や排泄パターンを把握している。タイミングを見計らいトイレへの声かけ、誘導をしている	各ユニットにはトイレが3箇所あり、1つは車いす対応で、スペースを広くとっています。快便ならば食事の進み具合も違うことが明らかで、健康の要として便については全員分のチェック表つけるほか、立位がとれにくくなっても2人介助で職員が尽力しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維の多い食材を取り入れた献立作りや体操、歩行運動を心掛けている。排便パターンにより薬にて排便を促す利用者様には薬の提供をしている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴の時間帯は決まってしまうが希望されれば入浴できるように努めている。拒否がある場合は無理強いしないようにしている	ベテランのお母さん職員が多いためか、清掃が大変行き届いて清潔な浴室で、また脱衣スペースには段ボールを加工した整理ボックスが並び、職員の工夫や勤勉さが垣間見えます。気の合う仲間での入浴もあつたり、柚子を浮かべることもあります。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	こたつやソファで休息したりベッドで休まれる方もいる。居室は個室になっており、心地よい室温で休めるように温度調整し自分だけの空間で安心して眠れるように支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬局からの薬の説明書により一人ひとりの薬の目的を確認し服薬の支援をしている。薬が変わった時は特に副作用等の症状について注意深く観察している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物を畳むことを楽しみにしている利用者様がいたり、嗜好品を購入するのを楽しみにしている利用者様がいる。コロナウイルス感染予防のため職員が購入し楽しんで頂いている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナウイルス感染予防のため外出支援はできていない。面会も思うように出来ていないため利用者様の気持ちを家族に伝え電話でお話をしていただいている	「行きたい」との声には何を聞いても応えるようにしており、たとえ無理でも職員配置が3名となる11時には、散歩には出るよう意識しています。以前にはコンビニエンスストアまで足を延ばすことができましたが、コロナが気になる現在は目の前の生活道路に限られています。	



自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人がお金の所持はしていないが、お小遣い管理のもと、本人の購入したい物があればお小遣いから支払い、購入できるような支援をしている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の取次ぎはいつでも行い安心できる環境を作っている。また年賀状の受け渡しを行なっている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	花や壁面飾りで季節感を取り入れるように工夫している。光や温度は利用者様に合わせて調整している。テレビの音量も時間帯によって調整して居心地良く過ごせるようにしている	暴力行為があり退去となる寸前に職員の工夫で今此処で生活ができているという人もいて、一時はテレビを壊したこともあり、共用空間の物品を撤去しなければならないこともありました。壁面には利用者の似顔絵やレク作品が連なり、日頃のレクリエーションの充実ぶりが覗えます。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間にはテーブルと椅子、籐のベンチ、畳の間には掘りごたつとソファがありそれぞれがテレビを観たり新聞を読んだり談話をしたり、思い思いの場所で過ごせるような工夫をしている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの物や扇風機、テレビ、家族の写真等があり、居心地良く過ごせるように工夫をしている	夜間ポータブルトイレを置く人の居室には、白いテープのメバリングがあり、置く位置がずれて本人に迷いが生じないように配しています。また、ローラーのついたボックスをベッド脇に備え、大好きな折り紙をする時のサイドテーブル代わりに上手に利用する姿もあります。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各入り口には大きな文字で表示している。バリアフリーで手すりがあり身体機能に合わせて歩行や、シルバーカー、車椅子の移動もできる空間を確保している。身体状況に合わせてベッドの高さを調整したり手すりを付け安全に生活出来るよう配慮している		

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2376300246	
法人名	有限会社 ネクストサブライ	
事業所名	グループホーム東栄の家 (2号館)	
所在地	愛知県北設楽郡東栄町大字本郷字久保田10-7	
自己評価作成日	令和2年9月7日	評価結果市町村受理日 令和2年11月13日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kajigokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;jiyosyoCd=2376300246-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kajigokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;jiyosyoCd=2376300246-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 愛知評価調査室	
所在地	愛知県名古屋市長瀬区本願寺町2丁目74番地	
訪問調査日	令和2年9月18日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム東栄の家は国道151号線沿いでとても解りやすく周辺には商店街や歯医者、イベント広場などがありとても立地条件が良くのどかな所にあります。また、駐在所や消防署も近くにあり安心できる環境です。利用者様は地元の方が多く、住み慣れた地域でのんびりとその人らしい生活が送れるように支援をし、利用者様に寄り添い安心して穏やかに暮らせることが第一だと考えております。また、利用者様の最高齢者が102歳の方をはじめ100歳以上の方が2名、90歳以上の方も15名おられ年々超高齢化が進んでおります。利用者様が元気に年を重ねることが出来るように支援し長く一緒に暮らせることが出来る施設を目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

山間の小さな町ながらも社会資源に囲まれ、便利な場所に事業所があります。車いすを使う利用者は都度移譲して椅子にかけてもらえるようにしており、手押し車も適宜導入して「これまでどおり」が実践されているためか、平均介護度が3を超えているように見えず大変お元気で、90歳代15名、100歳代2名と長寿を誇っています。「戻りたい」と気持ちを強くもって1年の闘病生活を経てリハビリに励み職場復帰した職員や、「親になにもしてあげられなかった」罪滅ぼしのためにこの仕事に携わったという職員もいて、障害や高齢などその人の背景が様々ある中でも相互扶助の精神を以て働きやすい職場をつくっています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/>	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/>	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/>	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

## 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	私達が作った「ゆったりと楽しく」「自由にありのまま」「仲間と一緒に暮らす」との理念は皆が家族のように、自分の家で生活しているようにこの思いを共有し実践できるように努めています		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	新型コロナウイルスの影響で外出やイベントへの参加、ボランティアの方や保育園児、小中学生の訪問は出来ない状況です。町内の店からお弁当をとったり小学校から生徒が育てた花の苗を頂き花壇に植えたりと地域との交流をしています		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議の場で様々な取り組みや支援等の内容を説明し理解を頂いています。新型コロナウイルス感染予防のため外出の機会がなくなり地域の方々に触れ合う機会が受診以外無くなっています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を2ヶ月に1回行い行政、地域や家族の代表の方に出席して頂き運営状況を報告しています。会議での貴重な意見や提案等をサービスの向上に活かせるように努めています		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者とは運営推進会議に協力して頂いたり認定調査や会議、コロナウイルスについて連絡を取り合ったりしています。利用者様の入退居の報告や広域連合への提出書類の窓口にもなっていることから協力関係を築いています		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	一人体制以外は特別な理由がない限り玄関やユニット間の施設はしていません。AA課程(内部研修)で身体拘束について学ぶ機会があり、3ヶ月に1回身体拘束適正化検討委員会を行ない身体拘束について共有し拘束をしないケアに努めています		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	AA課程(内部研修)や本部から届く朝礼で虐待について学ぶ機会があります。職員一人ひとりが自覚を持ち見過ごされることが無いよう注意を払っています。また、管理者は年2回高齢者虐待についてレポート提出をしており虐待防止に努めています		

## 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関してはAA課程(内部研修)で学ぶ機会があります。以前は成年後見制度を活用され入居されていた利用者様がいましたが現在はいません		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結や改定等の際は管理者が説明を行いません。不安や疑問点には納得して頂けるように説明し理解して頂いています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様には運営推進会議に参加して頂いたり面会時やケアプラン作成時に意見や要望等を伺い運営等に反映するように努めています		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	各館のカンファレンスの時間や職員会議の場で自由に話が出来ると環境作りをして、職員の意見や提案を参考にし業務等に活かしています		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得者には資格手当の支援を行ない達成手当等各種手当の支給もあり向上心を持って働けるよう対応を行なっています。労働時間は定時で終われるよう職場環境の整備に努めています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月AA課程(内部研修)を受けています。町と地域包括支援センター主催の地域ケア会議に毎月出席予定でしたが新型コロナウイルス感染予防のため延期になっています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	東栄医療センターにて新型コロナウイルスの予防対策について同業者との情報交換会を行ないました。町内外の勉強会等は新型コロナウイルス感染予防のため行なえていません		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の話し相手になってあげたり、要望や困っていることを聴き安心して生活出来るよう関わりを持つように取組んでいる		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の不安等に載ってあげたり、家族の要望を聞き取り不安要望に対応できる様に努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人が希望されている事、歯科受診とか、商店に買いたい物があると家族に伝えたり、職員が買って来たり等他のサービス利用も含めた対応をしている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の話し相手になってあげたり、要望や困っていることを聴き安心して生活出来るよう関わりを持つように取組んでいる		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族には、現状を手紙や電話で伝えたり、家族が訪問した時には日々の様子を伝えたり、共に本人を支えて行く関係を築いている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今は、コロナウイルス感染予防のため馴染みの場所へは行きませんが、他号館の知り合いの人に会いに行ったりしている		q
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	相性のいい利用者様また性格や個人の気持ちを尊重しながら席を近くにして、孤立しない様に取り持ちをして支え合えるように支援をしている		

## 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も時々連絡をしたり、また連絡を頂く場合は近況や退居後の様子を尋ねたり、気楽に相談や訪問してもらえるような関係作りをしています。畑で採れた野菜や新茶を今でも届けて下さってます		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	その人の意向に出来るだけ沿った対応を心がけている。困難な時は、言葉かけや対応できる時間を伝えるなどして、本人本位に検討している		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	折り紙などで舟などを折って利用者様同士で教え合って作っている、会話の中でその人の今までの暮らしを聞き取っている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	体調の変化や日常の様子を見極めている、その日その日の対応に気配りしている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	現状に添った介護計画を作成するにあたり、本人家族と話し合い、現状に合った課題を挙げている		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送りノートや詳細記録に記録して問題点など体調の変化に気付いた事を記録し、介護計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	コロナウイルス感染予防の為、家族対応の外出や受診が出来なくなったり、状況の変化に応じたニーズに対して柔軟な支援サービスに取り組事が出来ない		

## 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナウイルス感染予防の為地域の方々の参加やボランティア来訪は受け入れは出来てない		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の希望に沿った病院で受診し、かかりつけ主治医の采配により適切な医療が受けられるよう、病院、事業所との関係作りもしている		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	受診に戸惑う時は、協力医に相談をしたり、週に1回看護師が出勤する時に相談し、利用者様を診てアドバイスを貰ったりしている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時は病院に出向いたり連絡を取り合っ情報交換や相談をしています。医療機関とはより良い関係作りにも努めています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化してくると終末期のあり方については医師の判断のもと今後の方針についてご家族様の気持ちを大切にしながら、医療機関や関係者とも方針を共有しながら支援に努めています		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に訓練は行なえていないが急変時は協力病院と連携して対応をしている。職員1名が応急手当普及員となり必要に応じて活動しています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防関係者や運営推進会議で町の防災担当者からは、災害時は指示があるまでは室内で待機していることを進められています。施設の目の前に自主防災会の事務局が設置されるため指示や協力は得られる環境にあります		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの性格や言葉のとらえ方などを見極めその人に合った言葉かけや安心した気持ちでいられるように対応をしている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	体調に合わせて居室で休みたい人は休んで頂き、足が痛いから車イスにしたいなど本人の気持ちを汲み取るようにしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、その人らしく趣味、興味のある物を聞き出し、本人の希望に沿ってその日を過ごしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出する時は、本人に着て行くものを選んで頂いたり、髭を剃ったり爪を切ったり気持ち良く過ごして頂ける様に対応をしている、また利用者様の髪を床屋さんで散髪しています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	もやしの根取り、玉ねぎの皮むきをして頂き、好みの食べ物を聞いて職員とコミュニケーションを取りながら楽しく行っている		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご飯の量を利用者様に合わせたり、嫌いな物は除いて食事も個人個人に合わせ食べる量も考慮し栄養も偏らない様に工夫した献立を建てている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後歯みがき声かけをし、本人が入れ歯を出せる人は自分で外して頂き、出せない人は職員が介助している、週に1回はポリデントで消毒をしている		



自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	歩行出来ない利用者様でも車イスから手すりにつかまって立位をして頂いてトイレにかかって頂いている、排便チェック表を活用し排便のパターンを把握して対応をしている		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維の多い食品を使った食事の提供や牛乳やヨーグルトなどの提供をしている、水分を飲まない方においては出来るだけ取るように声かけしている、毎日体操を行なっている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	温かい風呂や暑い風呂、気の合う利用者様同士と一緒に頂いたり、その時の要望や身体状態に対応しゆったり入られる支援をしている		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様の体調の変化を見極め休む時間を作ったり温度調節や換気をしたり布団の調整を行ない寝ごちよく休んで頂けるよう努めている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様の日頃の体の変化に応じて対応している、正しく服薬出来るように支援している、医師や薬局等の連携を図り症状の変化を相談し薬の理解をして服用して頂いている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	サンドイッチやパンの好きな利用者様の食事を提供している、テーブル拭きなど出来る利用者様に拭いて頂く、又好きなお菓子など居室でゆっくり食べ気分転換して頂いている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナウイルス感染予防のため地域で行う行事や戸外に出かけないようにしている今は地域の人々との協力はありません		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族が入居の時にお金を持っている事で安心できる利用者様は持って頂いている、個人の小遣いで欲しい物があれば買い物ができる様に職員が支援をしている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を掛けたい方は、入居時に携帯電話を持ってこられ家族とやり取りをしている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じてカーテンを閉めたり、玄関には日除けカーテンをかけたたり空調・換気・冷暖房の調整をしている		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人ひとりの居室で一人になれたり、気の合った利用者様同士の席をそばにしたり、テレビの回りのソファーでくつろぐ空間があり居場所の工夫をしている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族の写真やテレビ冷蔵庫等がありご家族の写真や自分の小物バック等持ってこられ布団や衣類も愛情の物を使って居心地よく暮らせるよう工夫をしている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーで手すりも居室フロアに3か所ありトイレも車イス対応や自立向きに向けたトイレがあり安全に生活出来るように工夫している		

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2376300246	
法人名	有限会社 ネクストサブライ	
事業所名	グループホーム東栄の家 (3号館)	
所在地	愛知県北設楽郡東栄町大字本郷字久保田10-7	
自己評価作成日	令和2年9月7日	評価結果市町村受理日 令和2年11月13日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kajigokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;jiyosyoCd=2376300246-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kajigokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;jiyosyoCd=2376300246-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 愛知評価調査室	
所在地	愛知県名古屋市長瀬区本願寺町2丁目74番地	
訪問調査日	令和2年9月18日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム東栄の家は国道151号線沿いでとても解りやすく周辺には商店街や歯医者、イベント広場などがありとても立地条件が良くのどかな所にあります。また、駐在所や消防署も近くにあり安心できる環境です。利用者様は地元の方が多く、住み慣れた地域でのんびりとその人らしい生活が送れるように支援をし、利用者様に寄り添い安心して穏やかに暮らせることが第一だと考えております。また、利用者様の最高齢者が102歳の方をはじめ100歳以上の方が2名、90歳以上の方も15名おられ年々超高齢化が進んでおります。利用者様が元気に年を重ねることが出来るように支援し長く一緒に暮らせることが出来る施設を目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

山間の小さな町ながらも社会資源に囲まれ、便利な場所に事業所があります。車いすを使う利用者は都度移譲して椅子にかけてもらえるようにしており、手押し車も適宜導入して「これまでどおり」が実践されているためか、平均介護度が3を超えているように見えず大変お元気で、90歳代15名、100歳代2名と長寿を誇っています。「戻りたい」と気持ちを強くもって1年の闘病生活を経てリハビリに励み職場復帰した職員や、「親になにもしてあげられなかった」罪滅ぼしのためにこの仕事に携わったという職員もいて、障害や高齢などその人の背景が様々ある中でも相互扶助の精神を以て働きやすい職場をつくっています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/>	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/>	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/>	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

## 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	私達が作った「ゆったりと楽しく」「自由にありのまま」「仲間と一緒に暮らす」との理念は皆が家族のように、自分の家で生活しているようにこの思いを共有し実践できるように努めています		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	新型コロナウイルスの影響で外出やイベントへの参加、ボランティアの方や保育園児、小中学生の訪問は出来ない状況です。町内の店からお弁当をとったり小学校から生徒が育てた花の苗を頂き花壇に植えたりと地域との交流をしています		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議の場で様々な取り組みや支援等の内容を説明し理解を頂いています。新型コロナウイルス感染予防のため外出の機会がなくなり地域の方々に触れ合う機会が受診以外無くなっています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を2ヶ月に1回行い行政、地域や家族の代表の方に出席して頂き運営状況を報告しています。会議での貴重な意見や提案等をサービスの向上に活かせるように努めています		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者とは運営推進会議に協力して頂いたり認定調査や会議、コロナウイルスについて連絡を取り合ったりしています。利用者様の入退居の報告や広域連合への提出書類の窓口にもなっていることから協力関係を築いています		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	一人体制以外には特別な理由がない限り玄関やユニット間の施設はしていません。AA課程(内部研修)で身体拘束について学ぶ機会があり、3ヶ月に1回身体拘束適正化検討委員会を行ない身体拘束について共有し拘束をしないケアに努めています		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	AA課程(内部研修)や本部から届く朝礼で虐待について学ぶ機会があります。職員一人ひとりが自覚を持ち見過ごされることが無いよう注意を払っています。また、管理者は年2回高齢者虐待についてレポート提出をしており虐待防止に努めています		

## 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関してはAA課程(内部研修)で学ぶ機会があります。以前は成年後見制度を活用され入居されていた利用者様がいましたが現在はいません		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結や改定等の際は管理者が説明を行いません。不安や疑問点には納得して頂けるように説明し理解して頂いています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様には運営推進会議に参加して頂いたり面会時やケアプラン作成時に意見や要望等を伺い運営等に反映するように努めています		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	各館のカンファレンスの時間や職員会議の場で自由に話が出来よう環境作りをして、職員の意見や提案を参考にし業務等に活かしています		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得者には資格手当の支援を行ない達成手当等各種手当の支給もあり向上心を持って働けるよう対応を行なっています。労働時間は定時で終われるよう職場環境の整備に努めています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月AA課程(内部研修)を受けています。町と地域包括支援センター主催の地域ケア会議に毎月出席予定でしたが新型コロナウイルス感染予防のため延期になっています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	東栄医療センターにて新型コロナウイルスの予防対策について同業者との情報交換会を行ないました。町内外の勉強会等は新型コロナウイルス感染予防のため行なえていません		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の言葉に耳を傾け関わり、支援することで安心を確保し信頼関係に努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前には家族の思いを知りサービスに反映させるよう努めています。入居後暫くは電話で様子を伝えたりして家族の不安の軽減に努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今置かれている状況や状態、過去にあったご本人の情報を知り、希望や要望に沿った対応に努めています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	その場その時を共有する同じ人として、一日を穏やかにありのまま生活できるよう接しています。生活の中で出来る事を共に行ない良好な関係構築に努めています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様には現状を手紙や電話で伝え理解して頂いており、共に本人を支えていく関係を築いています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの知り合い同士が入居している方もおり、ホーム内で交流が持てるよう、他号館との交流を持っています		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の相性や心身の状態を考えて席を決め、気楽に話ができるようにしています。また、良い環境を保てるよう橋渡しをしています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も時々連絡をしたり、また連絡を頂く場合は近況や退居後の様子を尋ねたり、気楽に相談や訪問してもらえようような関係作りをしています。畑で採れた野菜や新茶を今でも届けて下さってます		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人がどうしたいか希望などを聞き職員間でも把握し共有しています		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	折り紙などで舟などを折って利用者様同士で教え合って作っています。会話の中でその人の今までの暮らしを聴き取っています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常の動作、行動、会話などから、その時々のお気持ちや状態を知るように努めています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的な話し合いだけでなく、状態の変化が見られる場合などは随時話し合いを行ない、必要な場合はご家族様とも相談をして介護計画の見直しなどを行なっています		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を介護記録に記入、特別なことがある場合は詳細記録に記入をし、職員間で情報共有しています。今または、将来必要となる情報にもなります。細かな申し送りはノートにて情報共有しています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	コロナウイルス感染予防のため買い物や家族との外出、外泊が出来ない状況です。ホームで気分転換ができるような企画を模索中です		

## 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナウイルス感染予防のためイベント行事は中止になりボランティアの受け入れも出来ない状況です		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の希望に沿った病院での受診を支援しています		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	受審に戸惑う時や疑問に思う事は週に1回出勤する看護師に相談し、アドバイスをもらっています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時は病院に出向いたり連絡を取り合っ情報交換や相談をしています。医療機関とはより良い関係作りに努めています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化してくると終末期のあり方については医師の判断のもと今後の方針についてご家族様の気持ちを大切にしながら、医療機関や関係者とも方針を共有しながら支援に努めています		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に訓練は行なえていないが急変時は協力病院と連携して対応をしています。職員1名が応急手当普及員となり必要に応じて活動しています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防関係者や運営推進会議で町の防災担当者からは、災害時は指示があるまでは室内で待機していることを進められています。施設の目の前に自主防災会の事務局が設置されるため指示や協力は得られる環境にあります		



自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の生活歴や過去の生き方を知り、その人にあった声かけや対応をしています		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	話しやすい雰囲気作りをしたり、自己決定が難しい方には会話をすることで、何を求めているかを感じ取るようにしています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	意思表示がうまくできなかつたり、感情が不安定な方もいるため、何がしたいかなどを聞き可能な限り希望に沿うようにしています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	慣れ親しんだ衣類や小物を持参して頂いたり、希望の衣類や生活に必要な物を購入している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたい物や好みの物を聞いて献立を作っています		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食事の量を把握したり、状態によってはお粥やミキサー食にして提供しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後歯磨きの声かけをし、ご自分でできない方には手助けを行なっています		

### 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄のパターンを把握し、排泄チェック表を用いたり、タイミングを見計らって声かけや誘導でトイレでの排泄をして頂けるよう支援しています		
44		便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	発酵食品や、繊維質の物を多く食べて頂けるよう献立を工夫しています。便秘体質で便秘薬が処方されている方は、排泄チェック表を用いて排泄状況を把握して薬を飲んで頂くようにしています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	お湯を好みの温度にしたり、気の合う利用者様同士で入浴したり、気分良く入って頂けるようにしています		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様それぞれのペースで過ごして頂いています。居室の空調や衣類、寝具の選択など、安眠に繋がるよう支援しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	副作用や用量までは理解しきれないが処方されている薬については理解に努めています。身体的に変化がある場合は、主治医や来訪する看護師に報告し早めの対応をしています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来る事や好きなこととして頂き、体操やレクリエーションもその日の状況で内容を決めて行なっています。外気浴も気分転換に良いので短時間でも出られる日は出るようにしています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナウイルス感染予防のため外出が出来ない状況です		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金はこちらで預かり管理をしています。希望する物があればお小遣いを預かり購入しています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話がある場合は取次ぎをしたり希望があれば電話をしお話ができるようにしています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	一年を通して、日差しや空調には特に気を付けています。掲示物は季節にあった物を、食事には旬の食材を使い季節を感じながら楽しめるよう工夫しています		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	基本的にそれぞれの席は決まっているが、コミュニケーションがとれるよう自由に座って頂けるようにしています。一人で過ごしたい時は居室やソファなどでゆっくりと過ごして頂いています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた物や馴染みの物を持って来て頂き、少しでも居心地良く過ごして頂けるように工夫をしています		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや居室などの表示を大きくわかりやすくしたり、動線の安全確保のため環境整備をしています		